

INTAKE PIPE KIT

“BLITZ” means the ability to progress, every performance parameter of the motor-car. Established in 1980 “BLITZ” has developed and evolved automotive.

取 付 説 明 書

R35 GT-R

BLITZ

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

御願ひ！！

- この取り扱ひ説明書には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって、正しくご使用下さい。
- 本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管しておいて下さい。

装着車輜可能車輜と製品の仕様

- 車名：NISSAN GT-R
- 型式：R35
- エンジン：VR38DETT
- 年式：2007年12月～
- 製品名称：BLITZ INTAKE PIPE KIT
- 製品番号：12902

製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話またはFAXにて下記宛にお願いします。

- 連絡先：(株)ブリッツ
- TEL：0422-60-2277
- 住所：東京都西東京市新町4-7-6
- FAX：0422-60-0066

はじめに確認して下さい！

- この製品は、表記リストの部品及び付属品で構成されています。不足品や不具合のある場合は販売店または弊社までご連絡下さい。
- 本製品を装着前に落とししたり、装着時に無理な力を加えると装着不良で空気漏れや故障の原因になる場合がありますので十分に注意して下さい。

重要事項の確認

- 本製品はノーマル車輜を基準に製作されています。社外品(純正品以外)のパーツ(パイピングKIT、ブローオフバルブ等)を装着されていたり、事故歴のある車輜の場合は本KITの装着ができない場合があります。
- 本製品を装着すると、車輜によりブースト圧の調整及び燃料セッティングが必要になる場合があります。
- 作業中に車が動きだしたりしない様に平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停止させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
- 作業はメーカーの発行する整備手順要領書を基本におこなってください。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。
- 一般公道での走行は、道路運送車輜法を守って走行してください。

取り付け作業の方へ

- 品質には万全を期しておりますが、アルミパイピングの中にバフの研磨剤等は付着している事が稀にあります。パイプ取り付けの際には、事前に点検、洗浄を行って下さい。

取付後の自動車メーカーの保障につきましては、
弊社では一切の責任を負いかねますので御了承ください。

■パーツリスト■

パイプNo.1 (R)		パイプNo.2 (R)		パイプNo.3 (R)		パイプNo.4 (R)	
	1		1		1		1
パイプNo.1 (L)		パイプNo.2 (L)		パイプNo.3 (L)		パイプNo.4 (L)	
	1		1		1		1
ストレートシリコン		異径シリコン		ホースバンドHS-44		ホースバンドHS-40	
	10		2		22		2
ステーRH		ステーLH					
	1		1				
ボルトM8×15	4	ボルトM8×12	2	ボルトM6×15	2		

□組み付け作業手順□

■作業の方へお願い！

- 作業が終了しましたら、本取扱説明書は、必ずお客様に返却して下さい。

■作業に取りかかる前に、必ず下記の点を点検して下さい。

- 純正のホースやバンド等の部品に、変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら、純正品の新品に交換して下さい。
- 再使用する純正のガスケット類も、十分に点検して、不具合のある場合は純正品の新品に交換して下さい。

警告 作業中の怪我・火傷

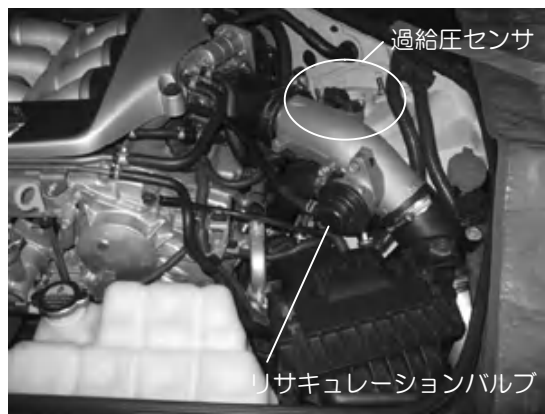
- 装着作業は専門の整備工場などに依頼して下さい。

★本文中の純正品とは、自動車メーカーの標準装着品の意味です。

■純正パーツの取り外し■

※必要に応じて、取り外した部品、位置にマーキングを行いながら作業を行ってください。

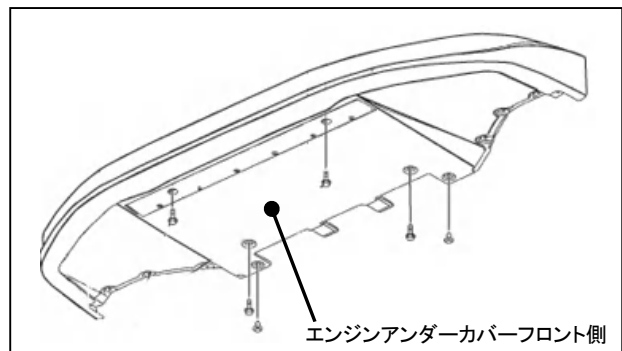
- ①バッテリーマイナス端子を取り外します。
- ②過給圧センサのハーネスコネクタを切り離します。
- ③エアインレットホースを取り外し、リサキュレーションバルブ、パイプを一体で取り外します。



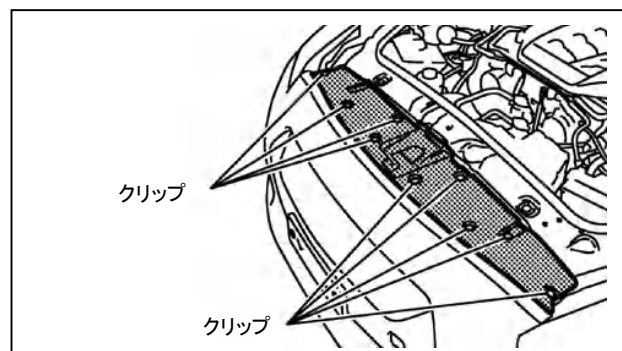
○フロントバンパーフェーシアを取り外します。

④インナーフェンダーフロント側を左右共に取り外します。

⑤エンジンアンダーカバーフロント側を車両と切り離します。

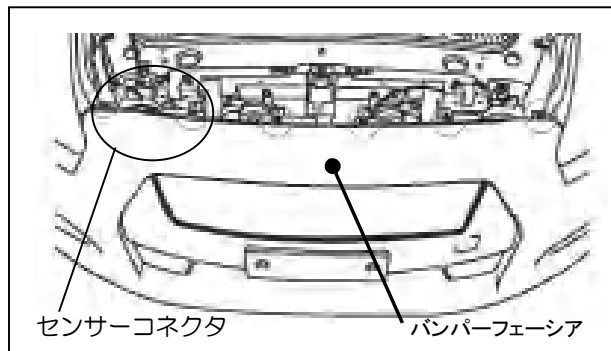


⑥ラジエターカバーを取り外します。



⑦バンパーフェーシア上部のクリップを取り外します。

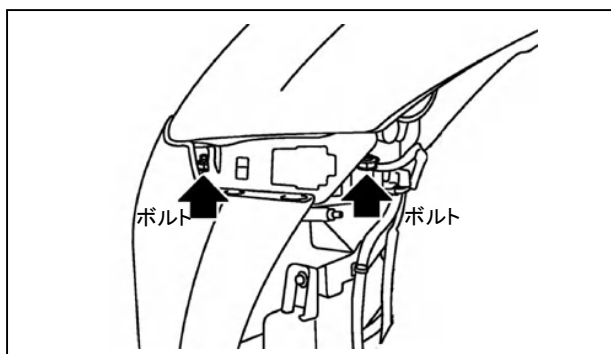
⑨バンパーフェーシア裏のセンサーコネクタを切り離します。



⑧ターンシグナルランプのコネクタを取り外します。

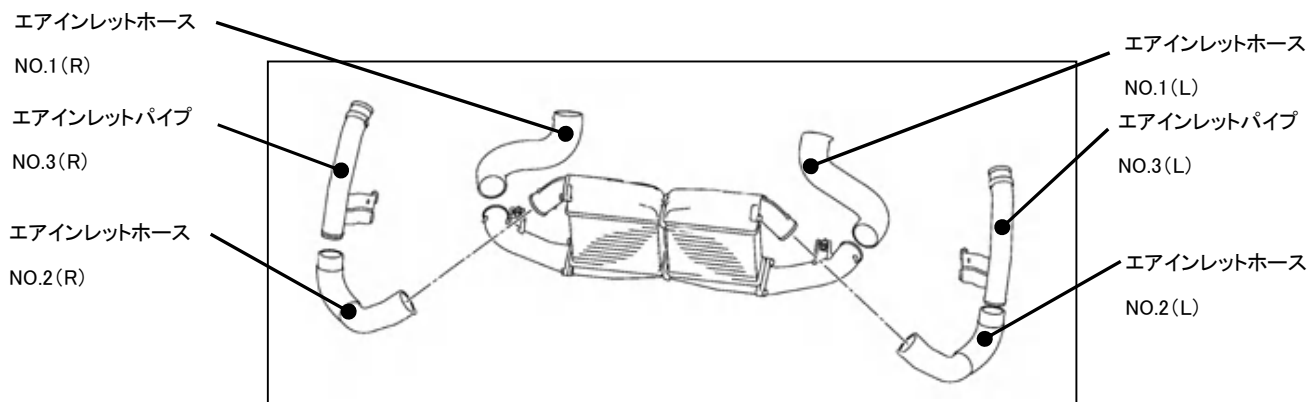
⑩フロントフェンダとバンパーフェーシアを結合しているボルトを取り外します。

⑪バンパーフェーシアを取り外します。
※バンパーサイドにツメのかん合があります。ツメを破損しないよう注意して作業を行ってください。



⑫車両右フェンダーオイルクーラー前のエアダクトを取り外します。

⑬下図の各エアインレットホース及び、パイプを取り外します。



■キットの取り付け■

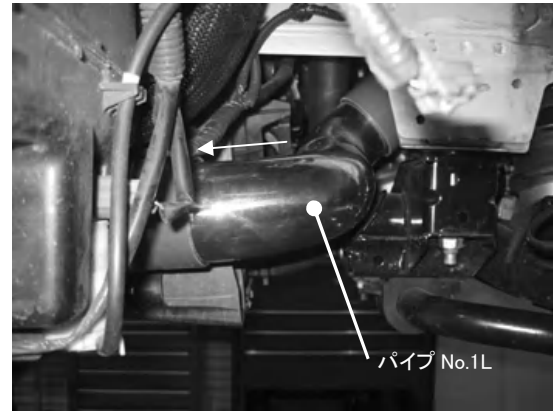
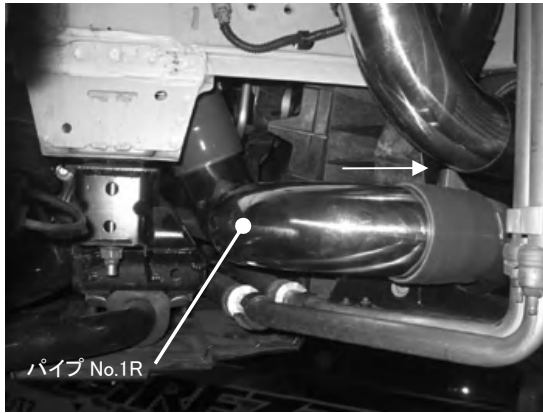
パイプに付いている矢印のシールが空気の流れる向きになります。

番号と合わせて参考にして取り付けを行ってください。

各部分は仮付けとし、最後に全ての位置調整を行いながら増し締めを行ってください。

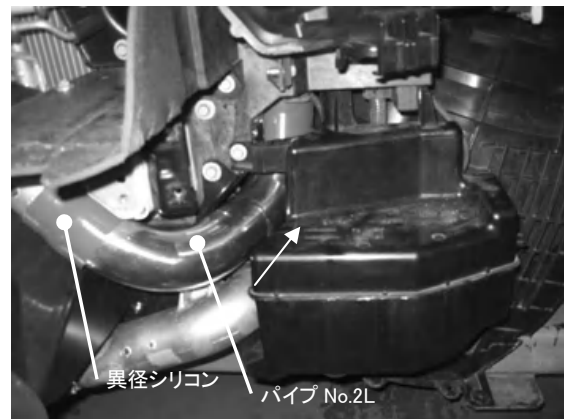
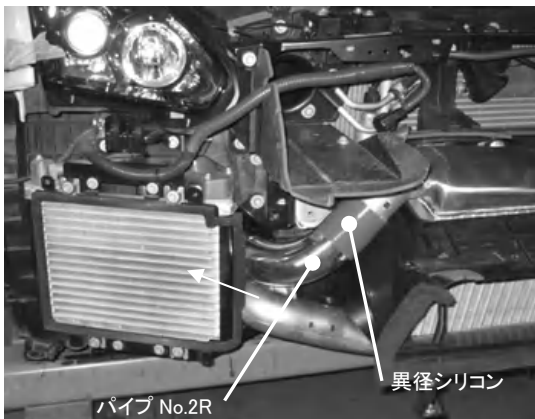
①パイプ No.1 を取り付けます。

※付属のストレートシリコンと、バンド (HS-44) を使用してください。



②パイプ No.2 を取り付けます。

※I/C 出口部分は、付属の異径シリコン、バンド (HS-40) を使用し、それ以外はストレートシリコンとバンド (HS-44) を使用してください。

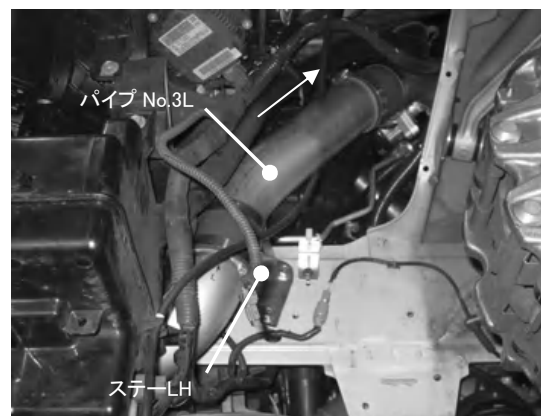
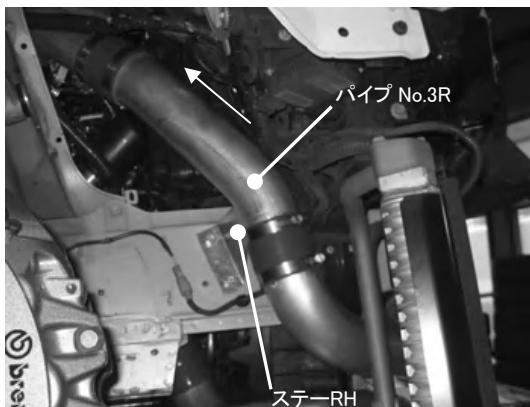


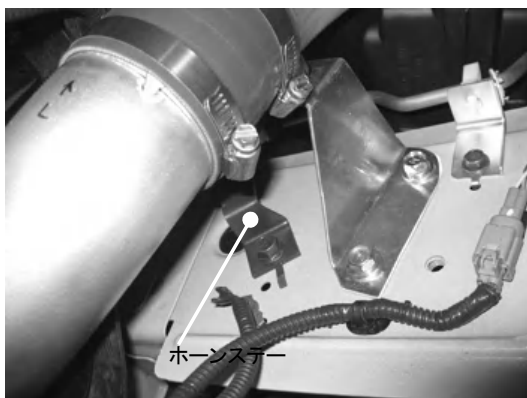
③パイプ No.3 を取り付けます。

それぞれステーRH,LH を使用して、パイプに溶接されたボスと車両側を固定します。

※接続には、付属のストレートシリコン、バンド (HS-44) を、パイプの固定には、ボス側に M8×12 を、車両側に M8×15 を使用してください。

※LH は、ホーンとステーが干渉する為下図を参考にホーンステーのツメ部分を曲げ、ホーン取り付け位置を調整してください。





④パイプ No.4 を取り付けます。
 車両取り付け前に、リサキュレーションバルブ、過給圧センサをパイプへ移植します。
 ガasket及び、Oリングは損傷が無いか十分確認をし、問題があれば新品を使用してください。
 過給圧センサの取り付けには付属ボルト M6×15 を使用してください。
 ※接続は、付属のストレートシリコンと、バンド (HS-44) を使用してください。
 ※過給圧センサのハーネスコネクタを忘れずに接続してください。



⑤取り外したバンパーフェーシア、インナーフェンダー等、純正部品を逆の手順で取り付けます。

以上でKITの取り付けは終了です。

■エンジンの始動にあたって■

- 必ず換気のよい場所で行ってください。
- 各部品はしっかりと固定されているか、配管内に異物の混入はないか、エアリー漏れはないか確認してください。
- 配線・配管の取り回しは、周囲の部品との干渉に注意してください。可動部、加熱部への接触は、長時間の走行で配線・配管に傷が付いたり、配線ショートを起こしたりすると、最悪の場合はエンジンが破損する恐れがあります。

■必ず確認してください。

テスト走行を行い、各部に不具合がないかどうか、確認してください。もし、不具合があるようでしたら、もう一度本取扱説明書をよく読み、各部のチェックを行ってください。

BLATZ